

私情協（平成 28 年 12 月 11 日）於：早稲田大学 早稲田キャンパス

社会福祉学・社会学・教育学・統計学グループ

分野連携アクティブ・ラーニング対話集会

（話題提供）

「皇學館大学現代日本社会学部におけるアクティブ・ラーニングの取り組みについて」

山路克文（皇學館大学現代日本社会学部）

1. 皇學館大学及び現代日本社会学部について

【皇學館大学の独自の取り組み】

* キャリア・コンパス・プログラム

地域社会やさまざまな産業と連携した体験学習・実習、課外講座、ビジネス法務、ビジネス経営などの実務教育、アクティブ・ラーニングの導入になど、充実したプログラム内容で学生一人ひとりの希望する就職をサポートします。（大学案内より）

* 皇學館大学の教育

日本の精神文化と知の源泉とも言える「神道」を学びの根幹に、3 学部 6 学科を有しております。（大学案内より）

【現代日本社会学部・現代日本社会学科】

* 日本の伝統や文化を学んだうえで、問題解決に向けて主体的に行動できる力を養成。政治、経済、福祉、文化など、現代日本が抱えているさまざまな問題を解決できる人材の養成をめざす。（大学案内より）

○ 「社会福祉分野」（大学案内参照）

2. 教育体系

* 共通科目－日本について幅広い知識を身につけ、人間性を磨く科目です。

中心科目：建学の精神を理解する科目

・ 皇学入門（神道と日本文化）

・ 伊勢志摩共生学（持続可能な伊勢志摩の未来について考える）

周辺科目群－* 基礎知識科目群* 伊勢志摩定住自立圏共生学科目群* アカデミック

スキルに関する科目群* キャリア・デザインに関する科目群

* 就業実務能力に関する科目群

3. 現代日本社会学部の教育科目

* 学びの特色

- ・ 広い視野と優れた分析力を持つリーダーを育てる
- ・ 行動のベースとなる思考力と洞察力、知的教養を身につける
- ・ 日本人の教養の基礎「日本のこころ」と「日本の技」を体得
- ・ 4 年間で段階的に実践的に学ぶ

4. 現代日本社会学部のディプロマポリシー

1 セメスター 学位の達成に求められる基本的な考え方や態度の修得

2 セメスター リーダーに求められる人格形成、実践力・行動力の形成

3 セメスター 4 分野について総合的・基礎的な知識の習得。

4 セメスター 専門的知識・技術の習得と日本の課題の明確化

(5,6,7,8 は省略)

1 セメスターの科目から「初年次ゼミ」

目的：入学当初からキャリア形成に必要な思考の方法を学ぶ

目標：人間関係形成・社会関係形成能力、意欲・態度及び価値観

2 セメスターの科目から「リーダーシップセミナー」

目的：問題を発見し、分析し、解決策をかんがえるために必要なリーダーシップについて学ぶ

目標：人間関係形成・社会関係形成能力

3・4 セメスターの科目から「現代日本演習 I (社会福祉分野)」

目的：問題を発見し、分析し、解決策を考える体験を通じて、学生の主体性、問題意識、問題解決能力、を高める。

目標：課題解決能力、論理的思考力、創造力

5. 教材 (リーダーシップセミナー)

教材：ショーン・コヴィー著「7つの習慣－ティーンズ」キングベアー出版

副教材：スティーブン・R・コヴィー著「7つの習慣－人格主義の回復－」
キングベアー出版

教育方法：約 60 分講義 (現代日本社会学部全教員分担し、教員全員出席で実施)
約 30 分 (担当教員別グループ指導)

評価：2 回のペーパー試験と受講態度

【テキストの主な内容 (目次から)】

パート 1：『7つの習慣の基礎』

パート 2：私的成功 (自己信頼口座)

第 1 の習慣「主体的になる」

第 2 の習慣「終わりを考えてから始める」

第 3 の習慣「一番大切なことを優先する」

パート 3：公的成功 (人間関係信頼口座)

第 4 の習慣「Win-Win を考える」

第 5 の習慣「まず相手を理解してから、次に理解される」

第 6 の習慣「シナジーを創り出す」

パート 4：リニューアル

第 7 の習慣「自分を磨く」

パート 5：日本のティーンズ「7つの習慣」実践編

以上